

視察には、産業界だけでなく、一般の県民・住民の方も多く、施設見学を通じ、リサイクルの理解向上に役立っているものと推察されます。

【視察者の内訳】

区 分	平成17年度		平成18年度	
	団体数	人数	団体数	人数
計	299	4,880	1,598	14,444

〔住民アンケートの状況〕

監視員及び住民協議会の方々にアンケートに協力いただき、『資源循環工場の監視活動を通じて（見学会で）、リサイクルやごみ問題に関して、どのように意識が変わりましたか（感想を持ちましたか）。』と尋ねました。

Q 資源循環工場の監視活動を通じて（見学会で）、リサイクルやごみ問題に関して、どのように意識が変わりましたか（感想を持ちましたか）。

回答数（回答率）

201(53%)	① 自分達の出しているごみが、どのように処理されているのかが、よくわかった。
185(49%)	② リサイクルには、お金も手間もかかることが、よくわかった。
151(40%)	③ ごみを出さないように、またしっかり分別しようと思った。
80(21%)	④ リサイクル品を使うなど、環境に配慮するようになった。
130(35%)	⑤ リサイクルは、もっと、積極的に推進してゆくべき。
146(39%)	⑥ リサイクルを進めていくためには、地域の住民が積極的に関わっていくことが大切だ。
123(33%)	⑦ 環境の先進地として資源循環工場をもっとPRすべき。
218(58%)	⑧ リサイクルは大切だが、地域の環境に影響を与えないような対策が必要。
121(32%)	⑨ リサイクルだけでなく環境問題全般に対する関心が高まった。
37(10%)	⑩ その他

\*回答数376名、(回答率)は回答者数(376)に対する回答数の割合

「自分達の出しているごみが、どのように処理されているのかが、よくわかった。」や、「リサイクルには、お金も手間もかかることが、よくわかった。」の項目に約半数の方が回答しています。この結果からは、資源循環工場が、リサイクルの仕組み等への理解の向上に役立っていることがうかがえます。

また、「リサイクルは大切だが、地域の環境に影響を与えないような対策が必要」との項目に半数以上の方が回答しており、環境保全への取組が期待されています。

ウ リサイクル促進の課題

資源循環工場の操業後一年間の状況を見ると、産業界におけるリサイクルの促進に貢献するだけでなく、市町村のリサイクル施策への貢献や、県民の理解促進など、リサイクルの普及に関して、一定の効果をあげているものといえます。